

公共施設に関するアンケート調査 (速報版) 概要

令和7年1月

施設マネジメント課

I 調査の概要について

1. 調査目的

令和 7 年度実施予定の公共施設マネジメント関連の計画改定にあわせ、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、これからの時代にあった公共施設のあり方を検討するにあたり、市民アンケートを実施することで、市民の公共施設の利用状況や施設の活用等に関する意向を把握し、計画改定に向けた基礎資料とする。

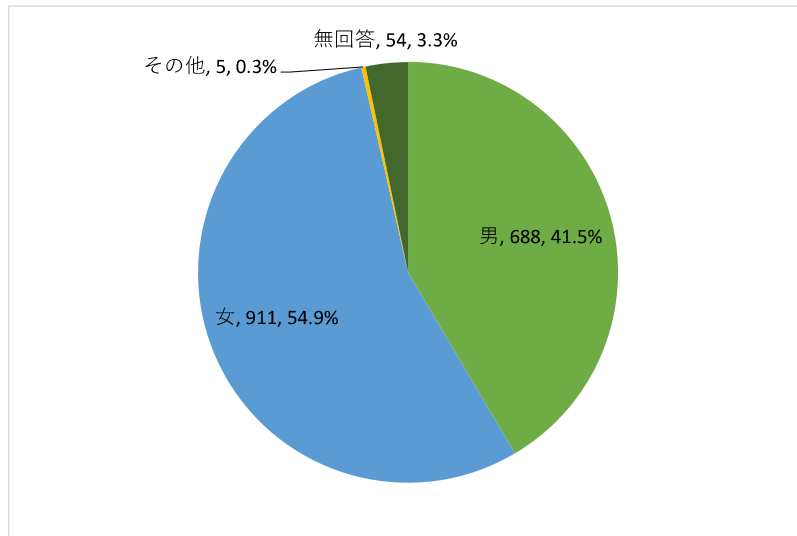
2. 調査方法

調査者 : 生駒市内に居住の 18 歳以上 90 歳未満、男女個人
調査方法 : 郵送配布・郵送または WEB 回収
発送数 : 3,000 人（住民基本台帳から層化無作為抽出）
回収数 : 1,660 人（回収率：55.3%）
（うち郵送による回収：1,208 人、WEB による回収：452 人）
有効回収数 : 1,658 人（有効回収率：55.3%）
（うち郵送による回収：1,206 人、WEB による回収：452 人）
※有効回収数…回収数から無効票（白票、属性以外白票）などを除いた回収数
調査期間 : 2024 年（令和 6 年）9 月 2 日～9 月 20 日

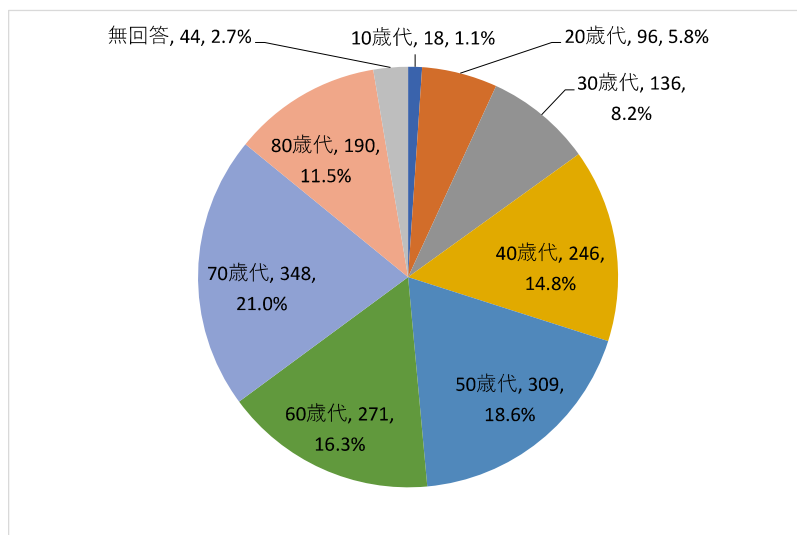
Q1はLoGoフォーム用の管理番号のため質問項目はありません

1. グラフデータ

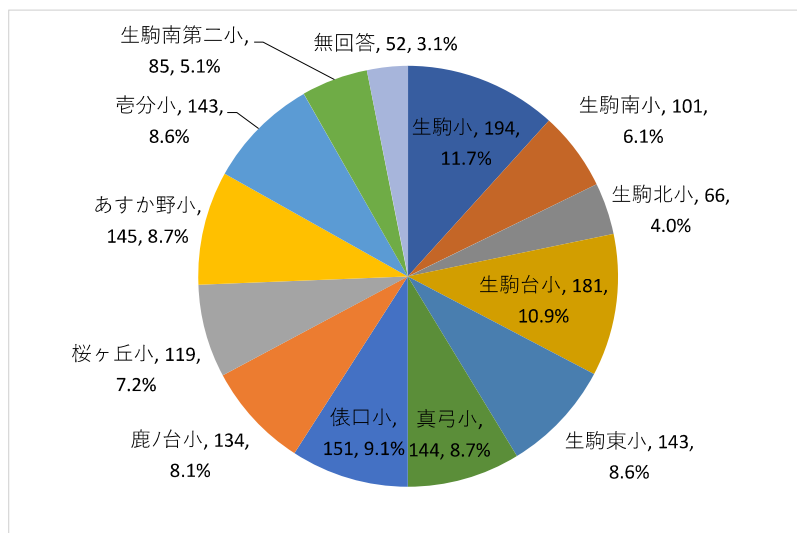
Q2 性別



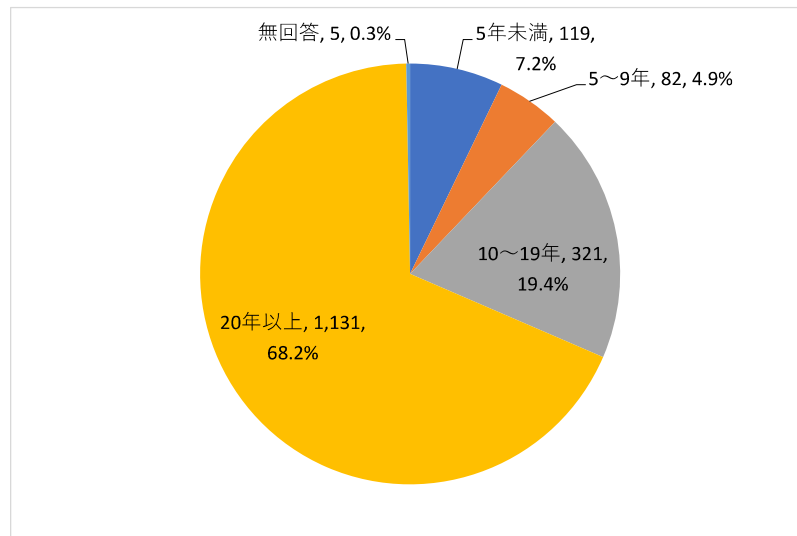
Q3 年代



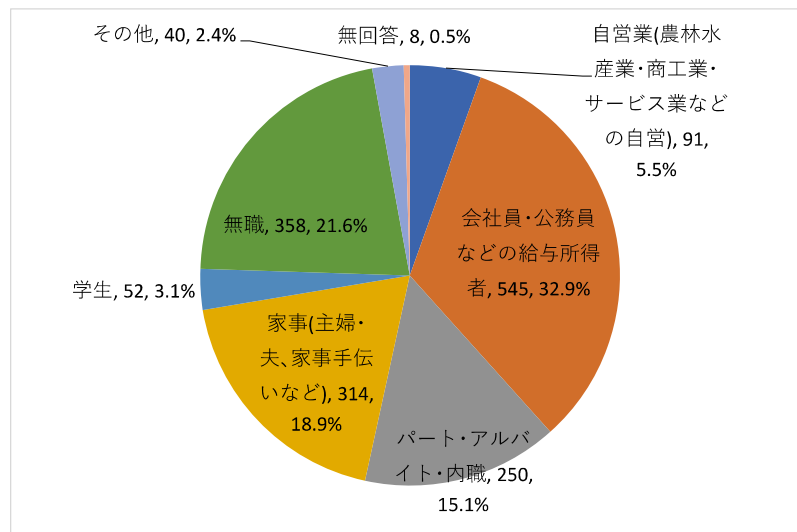
Q4 住まいの小学校区



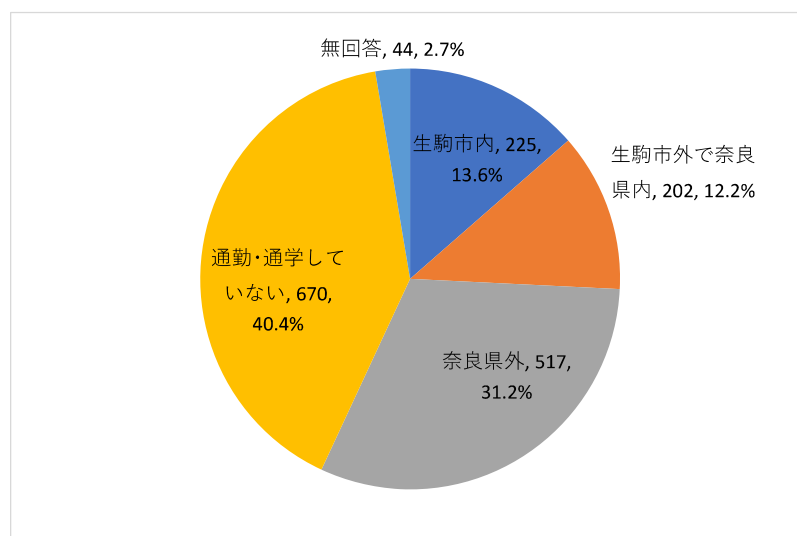
Q5 居住年数



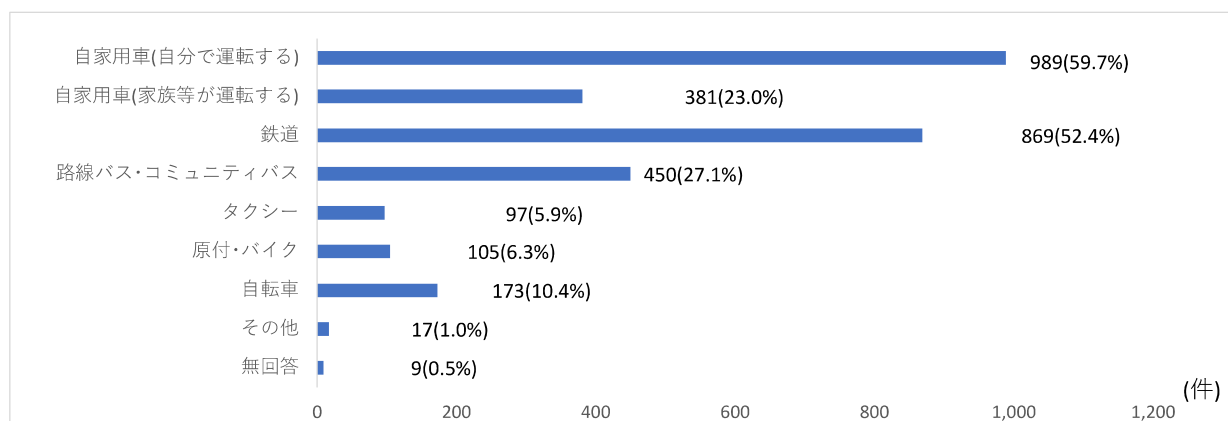
Q6 職業



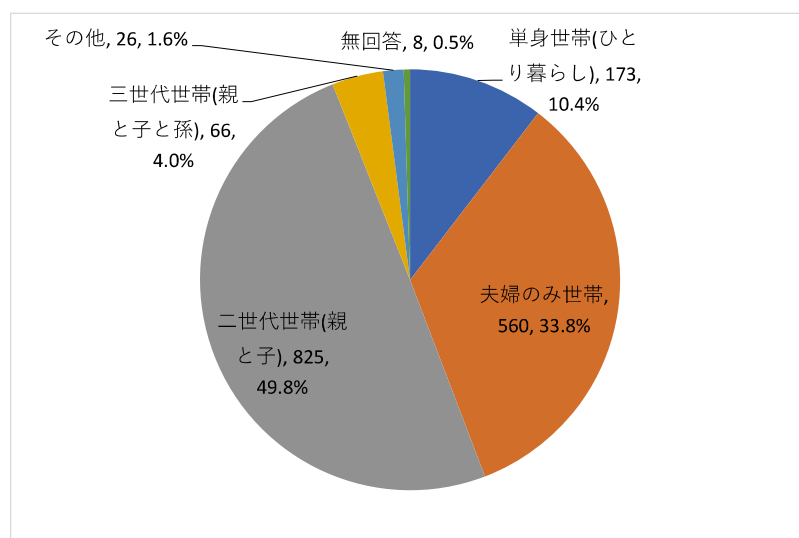
Q7 通勤・通学先



Q8 徒歩以外での日常的な交通手段

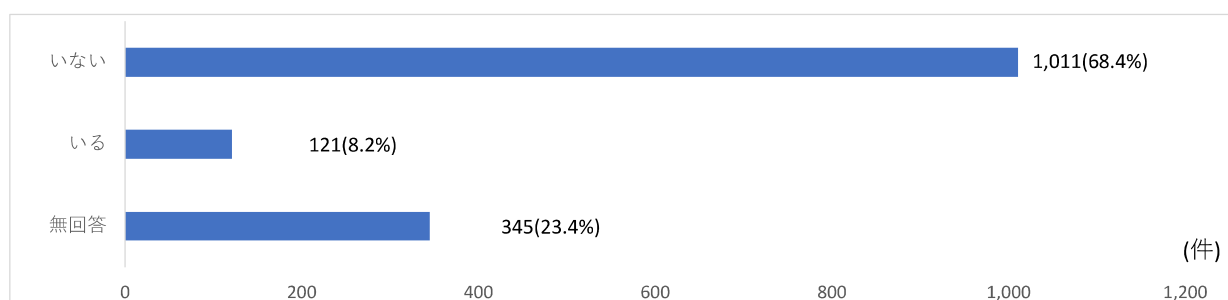


Q9 世帯構成（同居している家族）

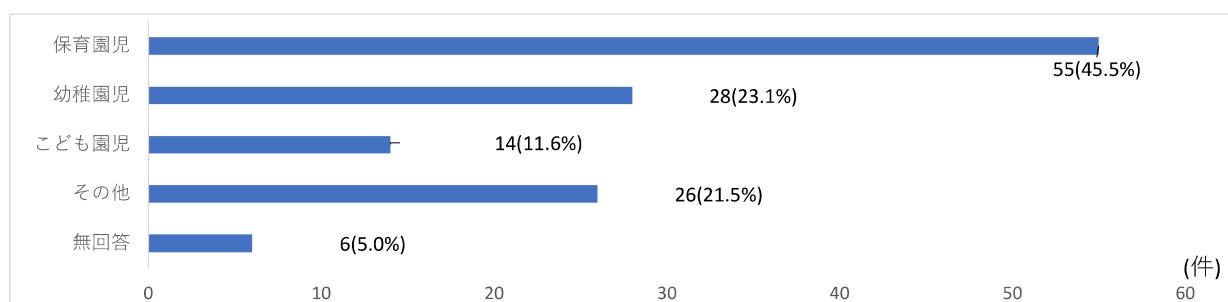


Q10

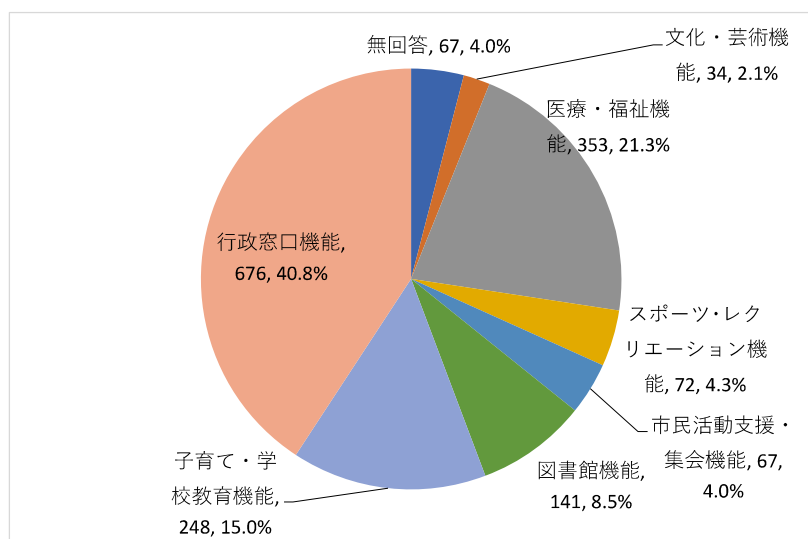
ア. 学校に通う前（0～6 歳）の方の有無



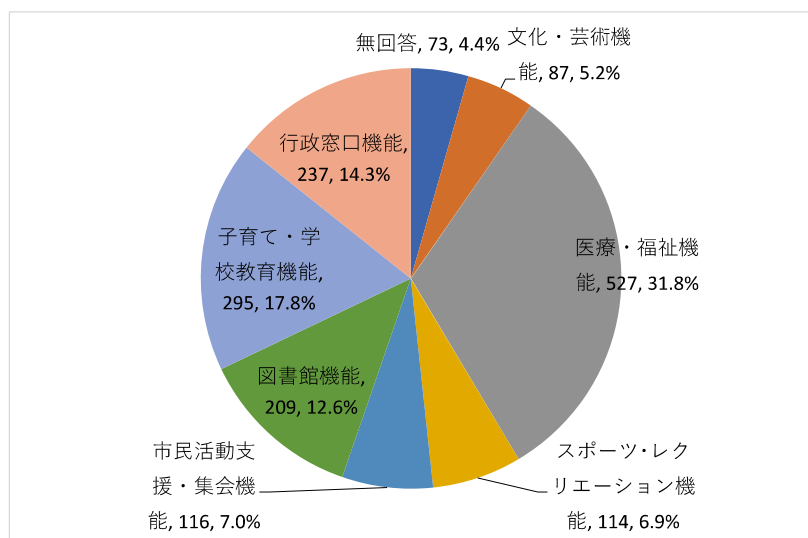
ア-2. その内訳



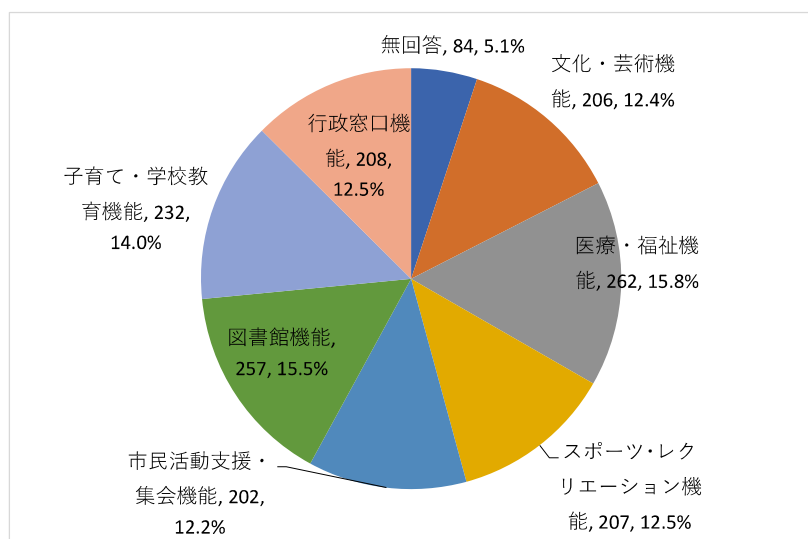
Q12 重要と思う機能。 <第1位>



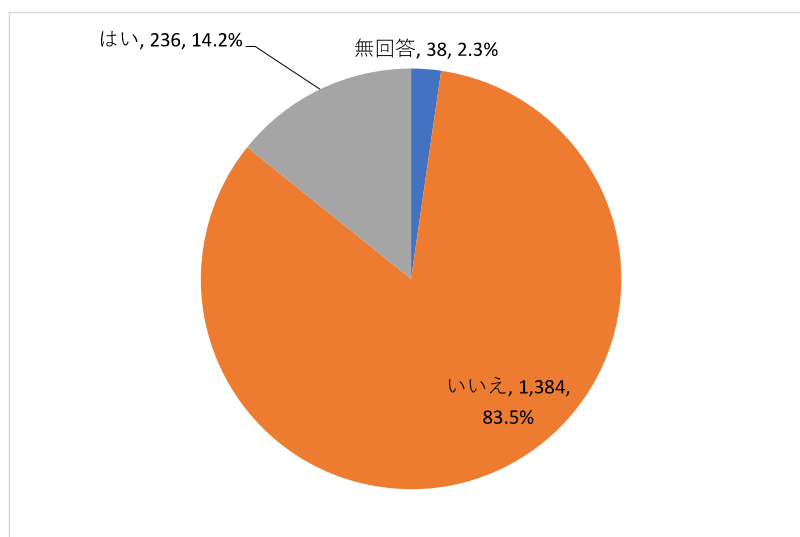
<第2位>



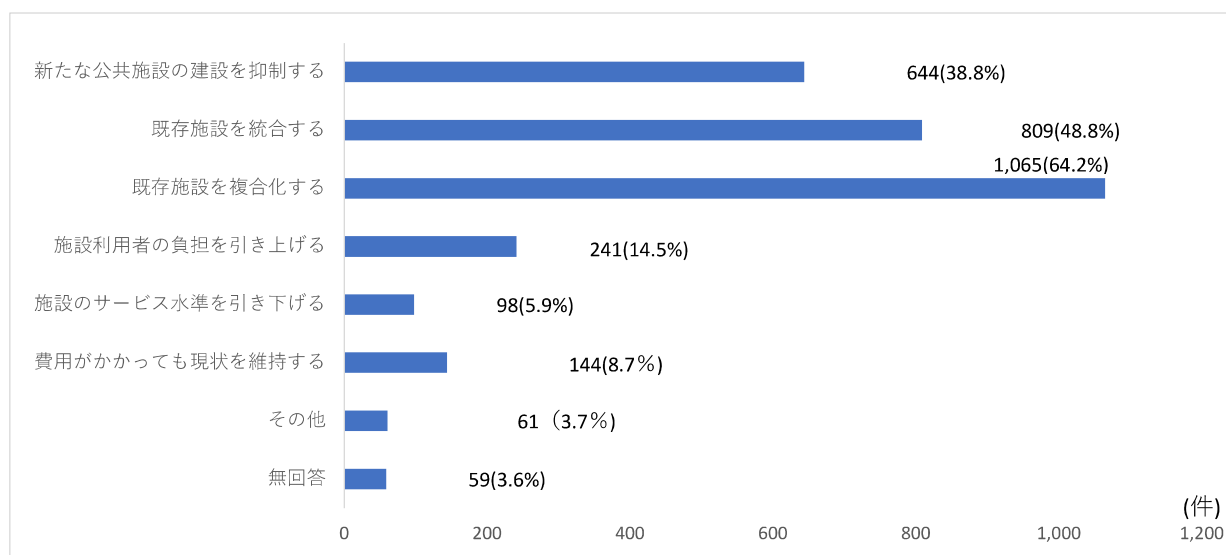
<第3位>



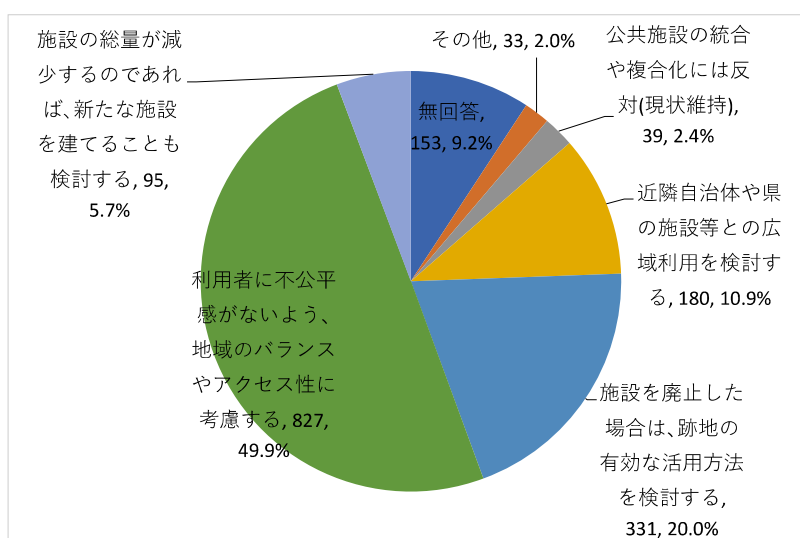
Q13 施設保有量の抑制を図る取り組みの認知度



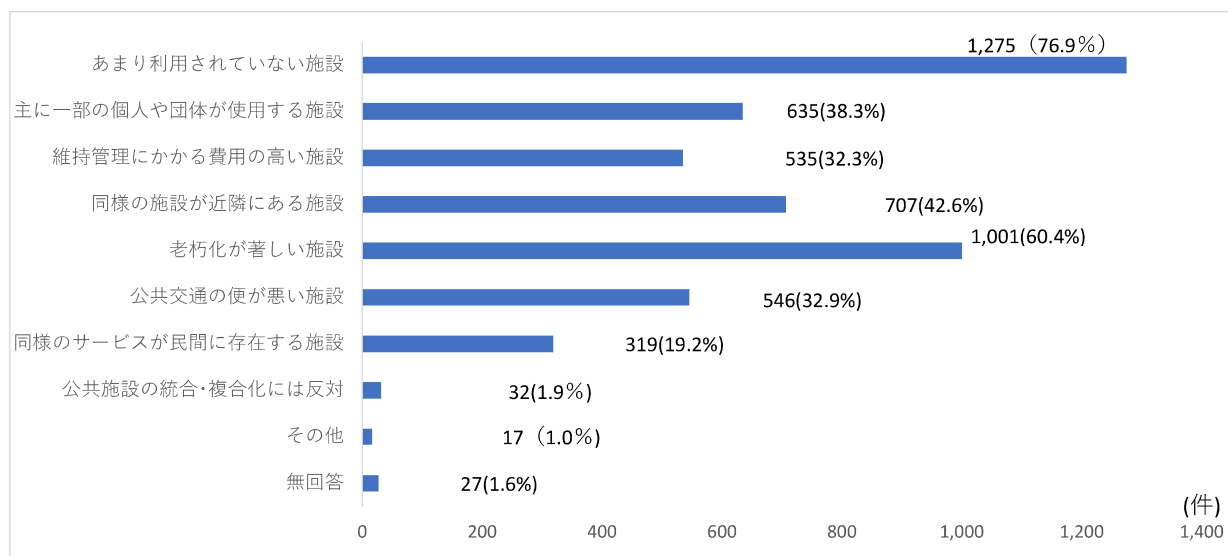
Q14 公共施設の維持管理・運営費用を軽減するための方策についての考え



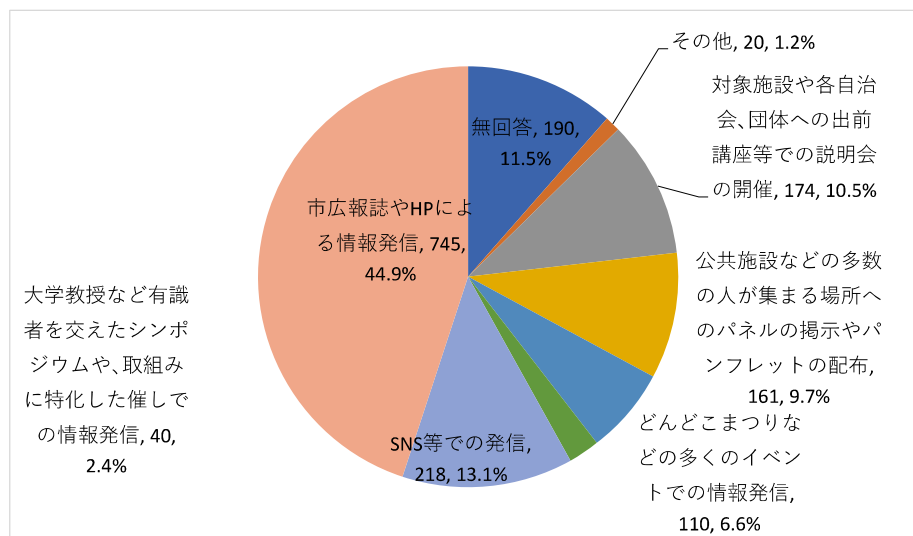
Q15 公共施設の統合や複合化等を進めるにあたり配慮すべき考え



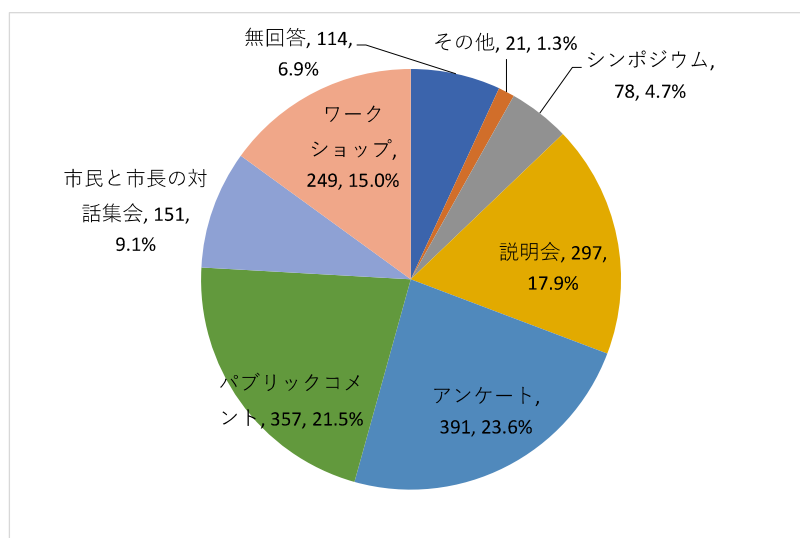
Q16 公共施設を統合・複合化への考え



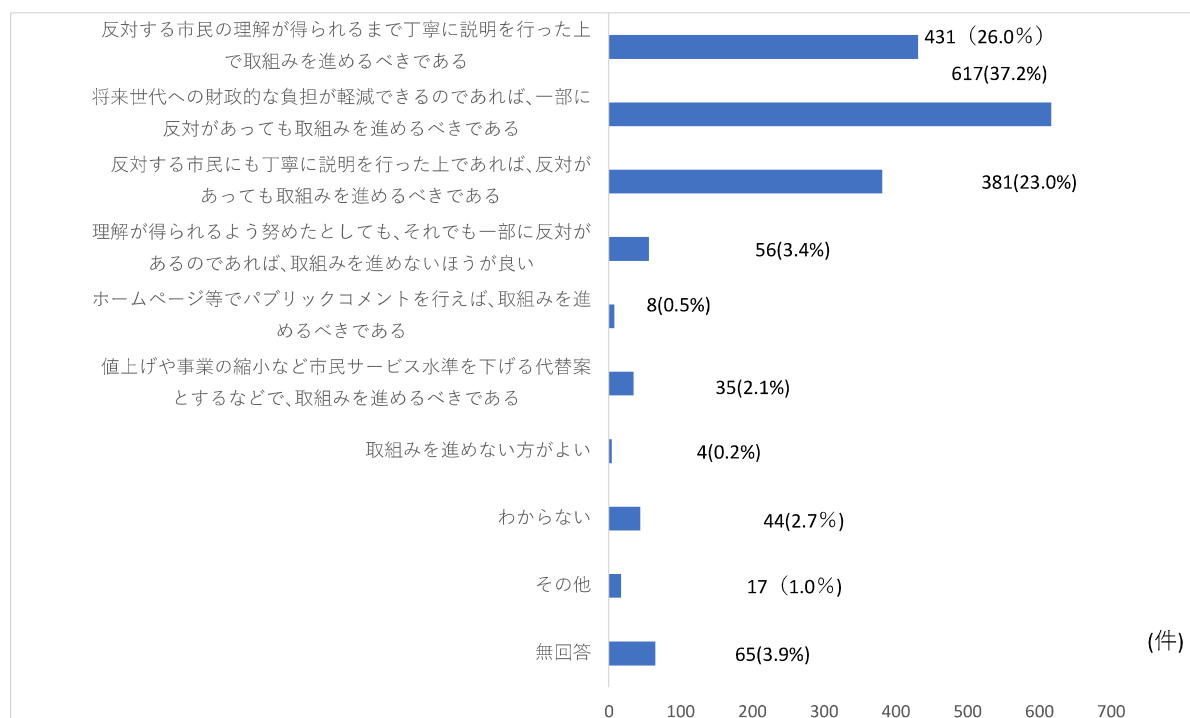
Q17 市民の方々と情報共有についての考え



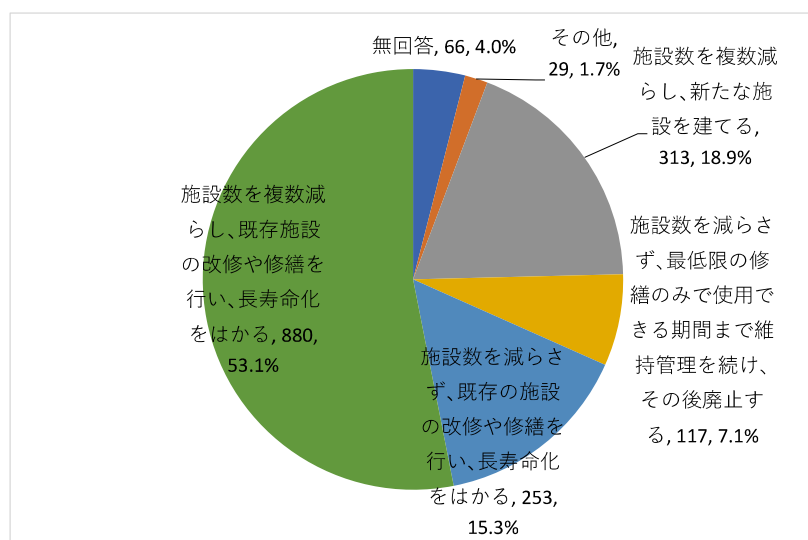
Q18 公共施設の見直しを進める中で、住民の大多数の方が満足する対話



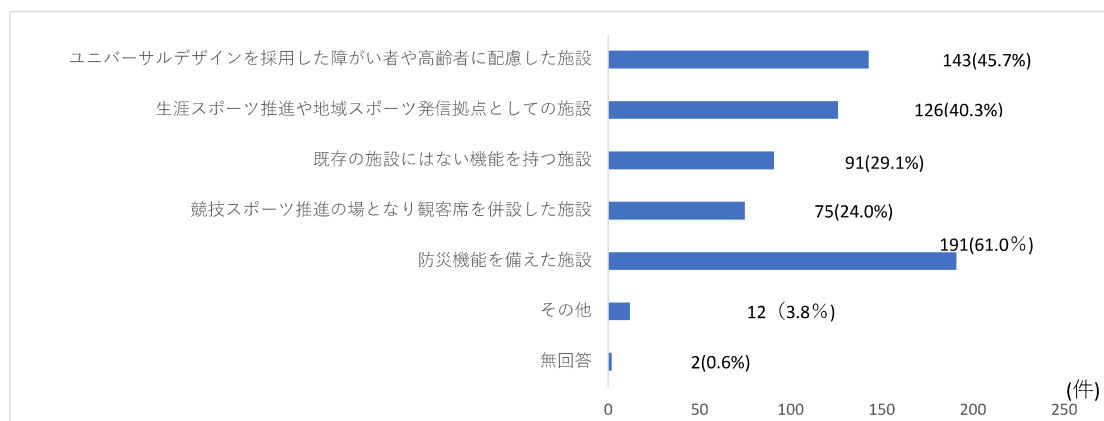
Q19 公共施設の見直しについて市民から反対があった場合の市の行動方法



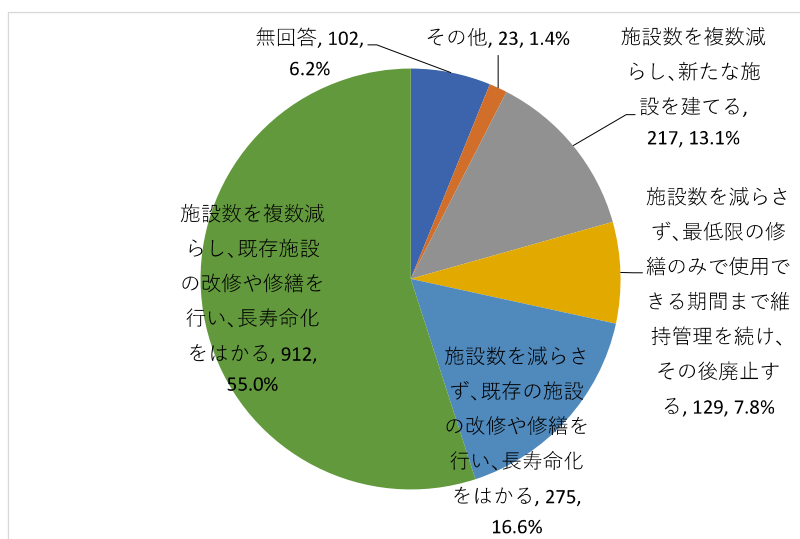
Q20 スポーツ施設の廃止や複合化等についての考え



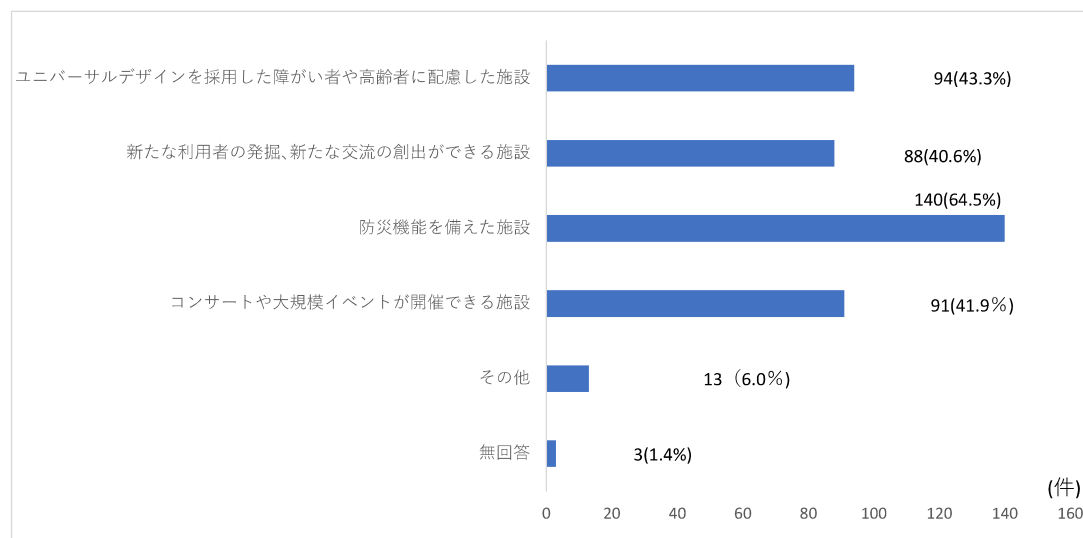
Q21 新たに建てる場合に期待する施設



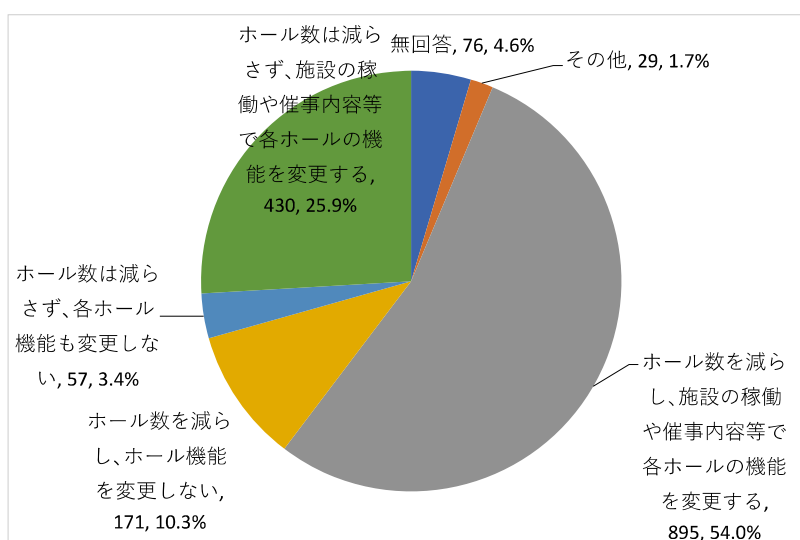
Q22 市民文化系施設の廃止や複合化等についての考え



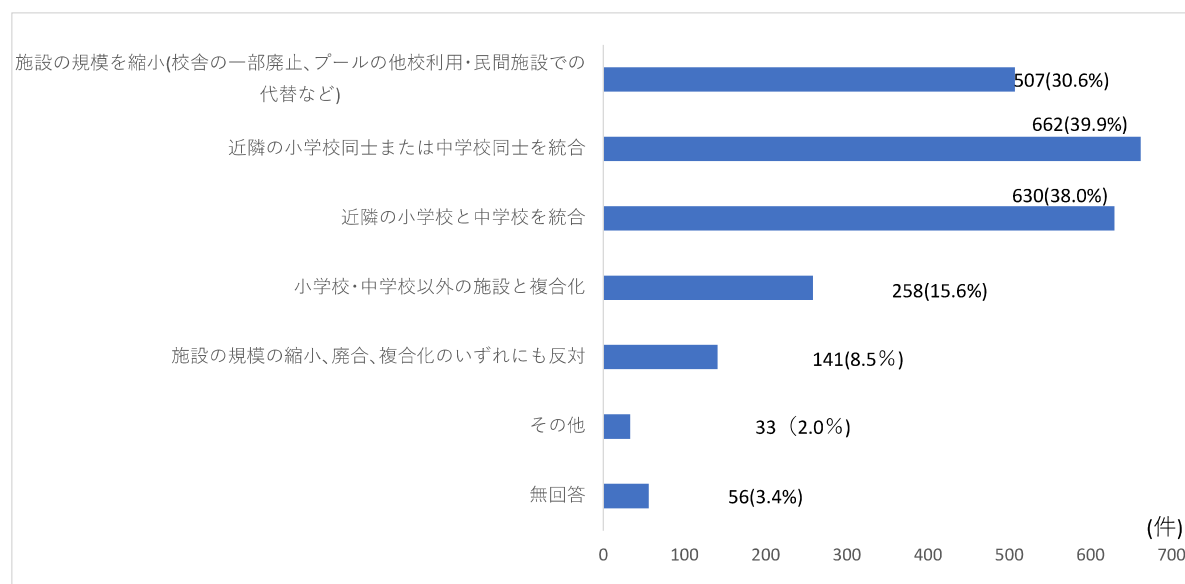
Q23 新たに建てる場合に施設する施設



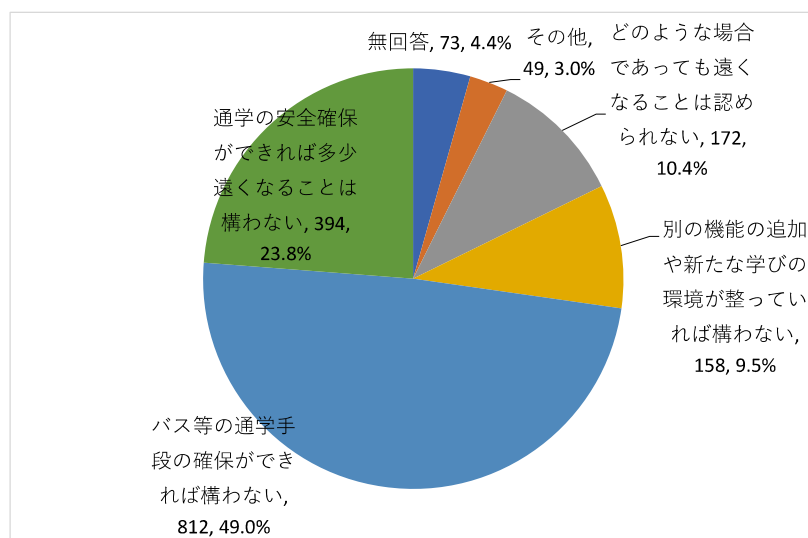
Q24 市民文化系施設のホール数の減少や機能の見直しについての考え



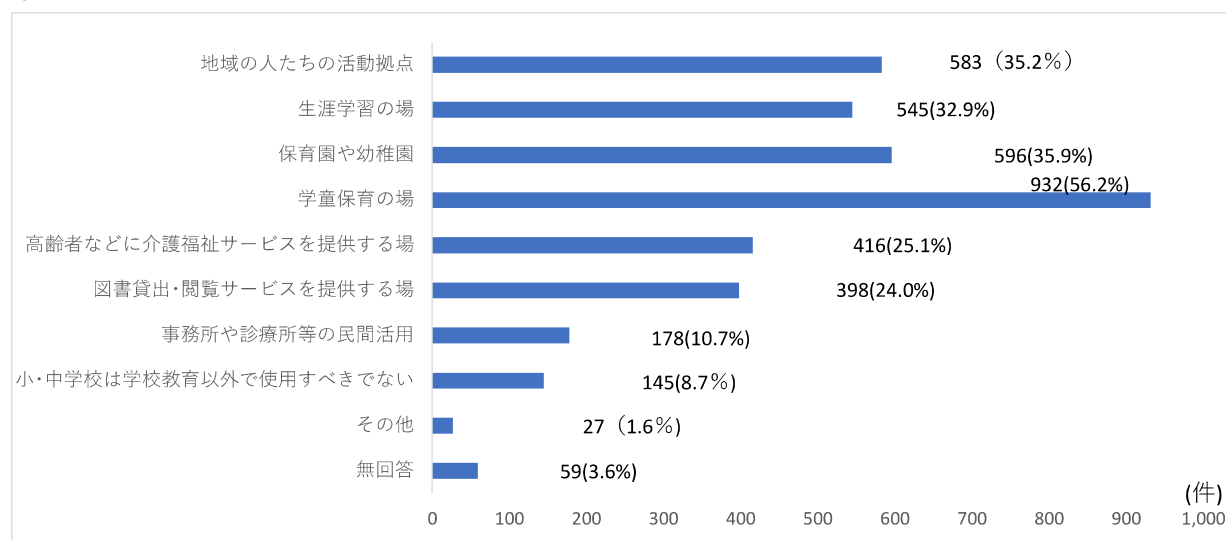
Q25 将来の市立小・中学校のあり方



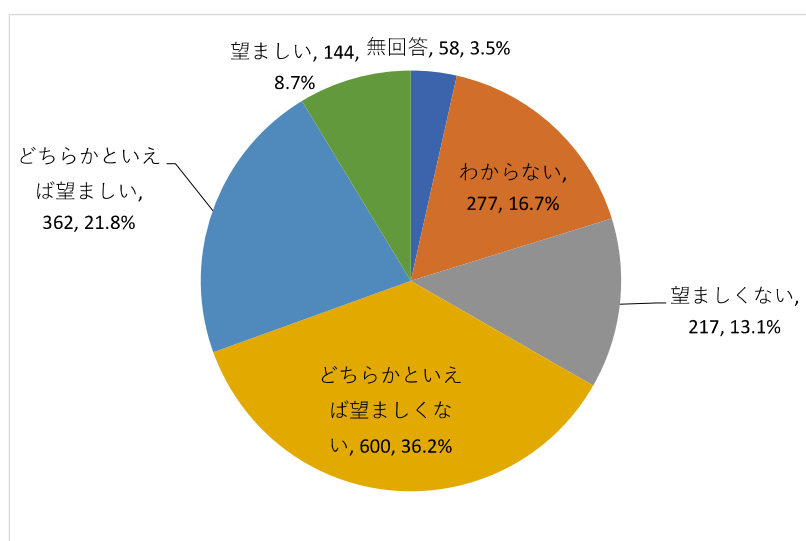
Q26 ・中学校が統合され、新たな小・中学校への通学が遠くなった場合の考え



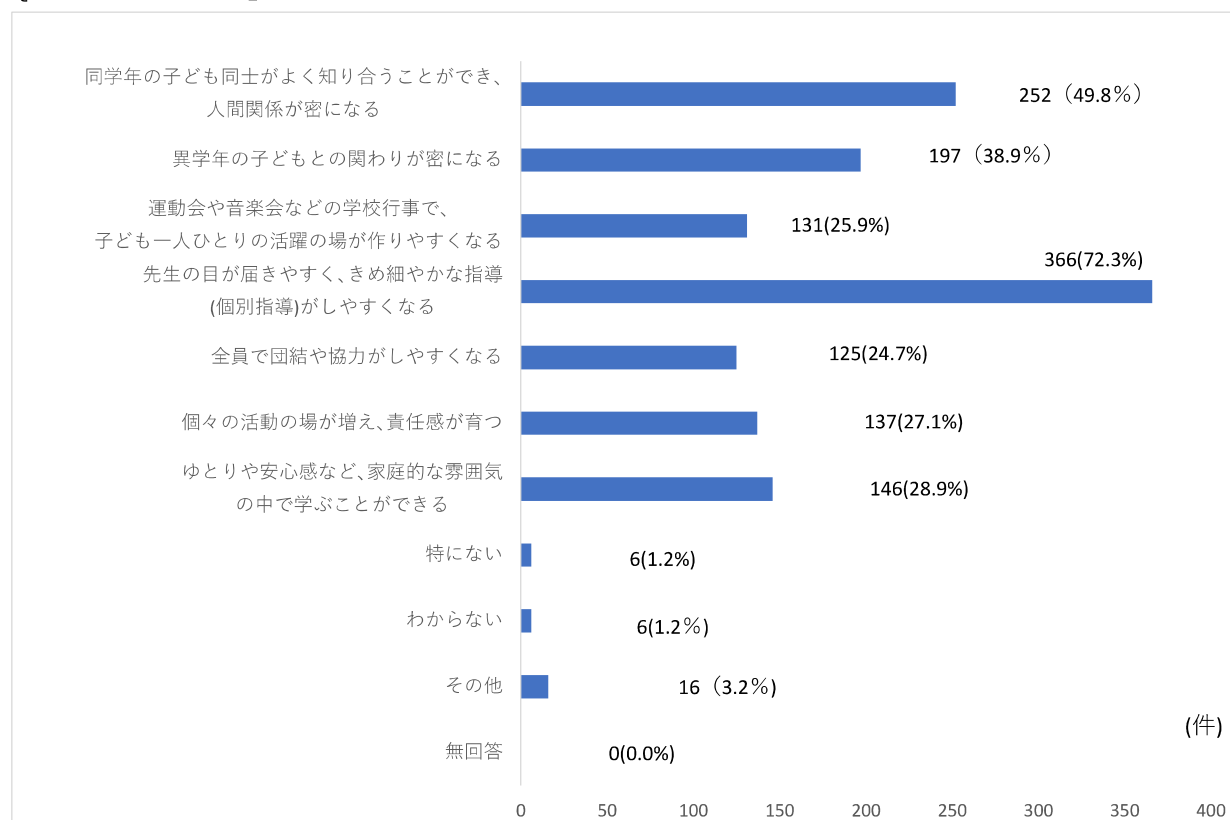
Q27 小・中学校に追加する機能



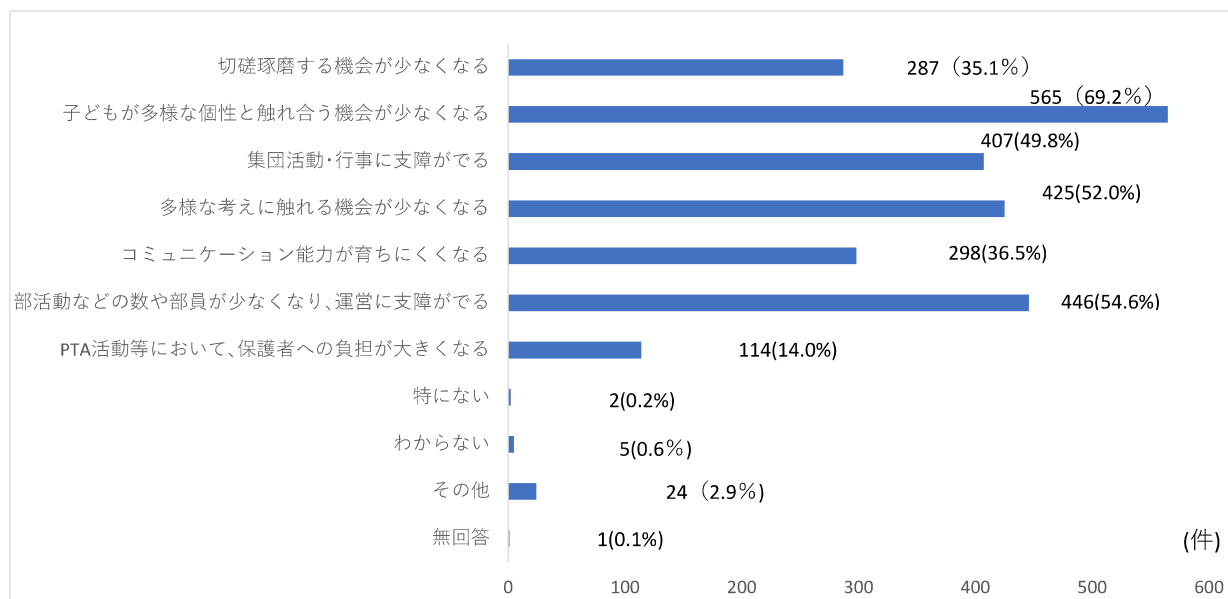
Q28 小・中学校が小規模化していくことについての考え



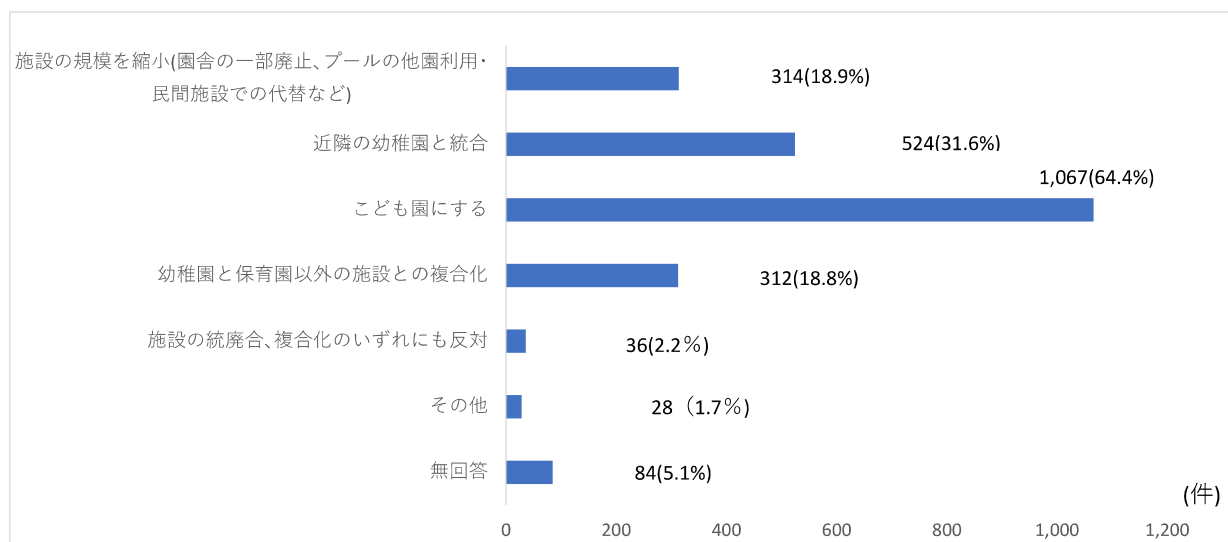
Q29 「望ましい」理由



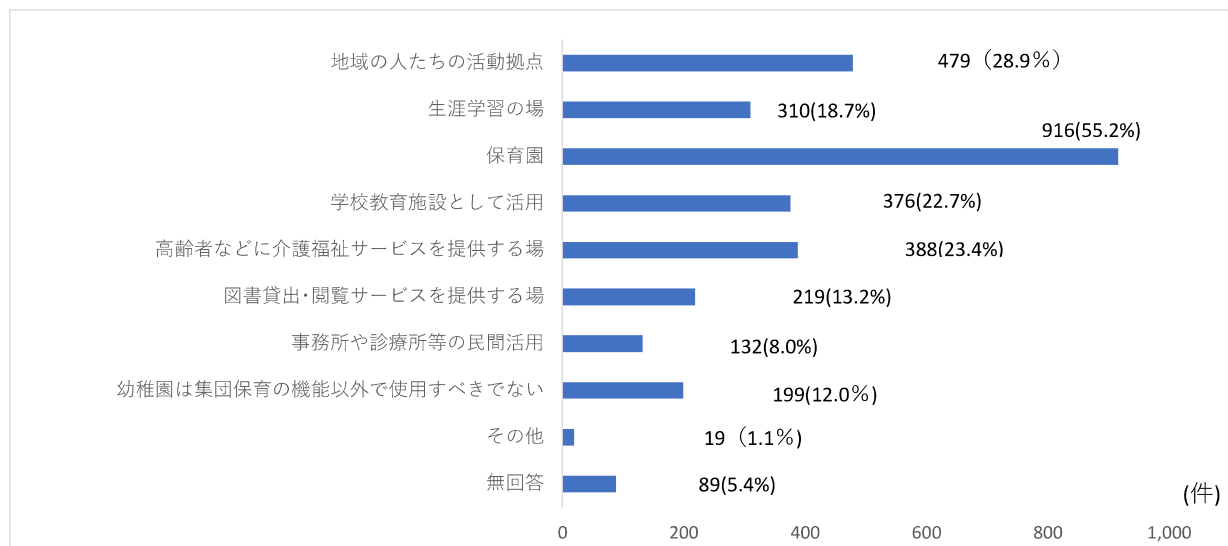
Q30 「望ましくない」理由



Q31 将来の市立幼稚園のあり方



Q32 幼稚園に追加する機能



公共施設に関するアンケート調査へのご協力をお願い
～皆さまの声をお聞かせください～

市民の皆さまには、日ごろから市政へのご協力ご理解をいただき、誠にありがとうございます。
生駒市では、これまで人口の増加や市民ニーズに応えるために多くの公共施設を整備してきました。
しかし、これらの公共施設は老朽化が進んでおり、人口の減少からも現在と同じ総量で公共施設を維持することができないとの試算から、削減する必要があると考えています。こういった課題に対応するため、市の財政状況や少子高齢化を踏まえた公共施設のあり方を考えていく必要があります。
そこで、本市では、施設の状態や利用状況などを考慮しながら、社会の変化に応じて公共施設を見直す取組みを進めています。今回、アンケート調査を実施することで、市民の皆さまのご意見を伺い、将来の財政負担を軽減し、次世代に良質な資産を引き継ぐ取組みに反映させたいと考えています。
お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2024年 8 月 生駒市

※本アンケート調査は、無作為で抽出した 18 歳以上の市民の方にお送りし、無記名でお答えいただくものです。したがって、個人情報漏れることはなく、市が回答結果を他の用途で用いることもございませんので、ありのままのご意見をお聞かせください。

◆記入上のお願い

- ・このアンケートは、あて名に記載したご本人様がお答えください。ご本人様の記入が難しい場合は、ご家族や介助者様の代筆で回答をお願いします。
- ・回答は、特に断りのない限り各設問の選択肢から該当する項目の番号に○をつけてください。
- ・「(具体的に:)」等の記載がある場合は、具体的な内容を記述してください。

◆アンケートの回答期限について

- ・2024年 9 月 20 日(金)までにご回答をお願いします。

◆アンケートの回答方法について

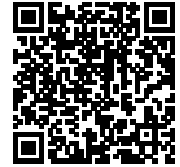
- ・【オンライン】PC、スマートフォン、タブレットでご回答いただけます。次ページ調査票のQ1.の右側にあるQRコードを読み取ってご回答ください。
- ・【紙の調査票】回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。切手は不要です。
調査票及び返信用封筒に、お名前を記入いただく必要はありません。

◆お問合せ先

- ・記入方法や内容などについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
生駒市 施設マネジメント課 ファシリティマネジメント推進室
電話:0743-74-1111(内線:3540)

※次のページからご回答ください。

I. ご回答いただくあなた自身のことについて



Q1. 回答者番号

※オンラインで回答される方はこちらのQRコードを読み取ってご回答ください →

QRコードが読み取れない場合はこちらのアドレスをスマホやパソコンで手入力してください
([https://logoform.jp/form/8zQh/607990?r\[107:text\]=-174709939](https://logoform.jp/form/8zQh/607990?r[107:text]=-174709939))

※メンテナンス等により入力できない場合があります。その場合は日時を変えてご回答ください。

Q2. あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男 2. 女 3. その他

Q3. あなたの年代をお答えください。(○は1つ)

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代
5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳代

Q4. あなたのお住いの小学校区はどちらですか。地区名を参考にお答えください。(○は1つ)

小学校区	(参考)地区名
1. 生駒小	山崎町、東旭ヶ丘、西旭ヶ丘、新旭ヶ丘、東新町、北新町、山崎新町、本町、元町1～2丁目、仲之町、門前町、軽井沢町
2. 生駒南小	萩原町、藤尾町、西畑町、鬼取町、小倉寺町、大門町、有里町、小瀬町、青山台
3. 生駒北小	高山町、ひかりが丘1～3丁目
4. 生駒台小	生駒台南、生駒台北、新生駒台、南田原町、北田原町、松美台、小明町、西白庭台1～3丁目
5. 生駒東小	東生駒1～4丁目、東生駒月見町、東菜畑1～2丁目、中菜畑1～2丁目、西菜畑町、菜畑町、緑ヶ丘
6. 真弓小	上町、真弓1～4丁目、真弓南1～2丁目、北大和1～5丁目、上町台
7. 俵口小	俵口町、東松ヶ丘、西松ヶ丘、光陽台、喜里が丘1～3丁目
8. 鹿ノ台小	鹿畑町、鹿ノ台東1～3丁目、鹿ノ台西1～3丁目、鹿ノ台南1～2丁目、鹿ノ台北1～3丁目、美鹿の台
9. 桜ヶ丘小	谷田町、辻町、桜ヶ丘
10. あすか野小	あすか野南1～3丁目、あすか野北1～3丁目、あすか台、白庭台1～6丁目
11. 壱分小	壱分町、さつき台1～2丁目、翠光台、南山手台
12. 生駒南第二小	東山町、萩の台、萩の台1～5丁目、乙田町、小平尾町

1. 5年未満 2. 5～9年 3. 10～19年 4. 20年以上

1. 自営業(農林水産業・商工業・サービス業などの自営)
2. 会社員・公務員などの給与所得者
3. パート・アルバイト・内職
4. 家事(主婦・夫、家事手伝いなど)
5. 学生
6. 無職
7. その他(具体的に:

1. 生駒市内 2. 生駒市外で奈良県内 3. 奈良県外 4. 通勤・通学していない

1. 自家用車(自分で運転する) 2. 自家用車(家族等が運転する)

3. 鉄道 4. 路線バス・コミュニティバス

5. タクシー 6. 原付・バイク

7. 自転車 8. その他(具体的に:)

1. 単身世帯(ひとり暮らし) 2. 夫婦のみ世帯 3. 二世帯世帯(親と子)

4. 三世帯世帯(親と子と孫) 5. その他(具体的に:)

1. いない 2. いる

状況」をお答えください。(○は1つ)

また、「4. 利用しなかった」を選択した方は、「B. 利用しなかった理由」についてもお答えください。(○はいくつでも可)

各施設については、市 HP をご覧ください。

<https://www.city.ikoma.lg.jp/category/2-28-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

		①	②	③	④	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨									
		A.過去1年間の利用状況 (○は1つ)				【A.で4(利用しなかった)を選んだ場合に回答】 B.利用しなかった理由(○はいくつでも可)									
		月に1回以上	12回程度	年に1、2回程度	利用しなかった	ない施設の利用を知ら	利用する必要がある	アクセスが不便	希望する時間に空	利用料金が低い	設備に不満(古)	設を市利用の類似施	他利用の類似施	民間の類似施設を	その他
例	たけまるホール	1	2	3	④	⇒	①	2	3	4	5	6	7	8	9
市民文化系施設															
(ア)	たけまるホール	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(イ)	コミュニティセンター	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ウ)	図書会館 ※図書館部分の利用は除く	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(エ)	北コミュニティセンター (ISTAはばたき) ※図書館部分の利用は除く	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(オ)	南コミュニティセンター (せせらぎ) ※図書館部分の利用は除く	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(カ)	鹿ノ台ふれあいホール ※図書館部分の利用は除く	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(キ)	芸術会館美楽来	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
図書館施設															
(ク)	生駒駅前図書室	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ケ)	図書館本館(図書会館)	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(コ)	図書館北分館(ISTAはばたき)	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(サ)	図書館南分館(せせらぎ)	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(シ)	鹿ノ台ふれあいホール 図書室	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9

		A.過去1年間の利用状況 (○は1つ)				【Aで4(利用しなかった)を選んだ場合に回答】 B.利用しなかった理由(○はいくつでも可)									
		月に1回以上	12回程度	年に1、2回程度	利用しなかった	な施設の存在を知らない 利用する必要がない アクセスが不便 希望する時間に空 利用料金が 設備に不満(古い、狭い等) 設を市町村の類似施 他利用の類似施設を 民間の類似施設を その他									
例	生駒市体育協会高山S.C.	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
スポーツ施設															
(ス)	生駒市体育協会高山S.C.	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(セ)	北大和体育館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ソ)	総合公園体育館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(タ)	市民体育館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(チ)	むかいやま公園体育館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ツ)	小平尾南体育館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(テ)	井出山体育館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ト)	井出山屋内温水プール TACきらめき	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ナ)	イモ山公園プール	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
レクリエーション・観光施設															
(ニ)	生駒山麓公園ふれあいセンター	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
福祉施設															
(ヌ)	RAKU-RAKUはうす	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ネ)	小平尾南児童館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
その他															
(ノ)	アコールいこまもやい館	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ハ)	セラビーいこま	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9

Q12. 公共施設が有する以下の機能について、あなたが重要と思う順番に3つ選んでください。

1. 行政窓口機能 2. 子育て・学校教育機能 3. 図書館機能 4. 市民活動支援・集会機能
5. スポーツ・レクリエーション機能 6. 医療・福祉機能 7. 文化・芸術機能

1番目に重要



2番目に重要



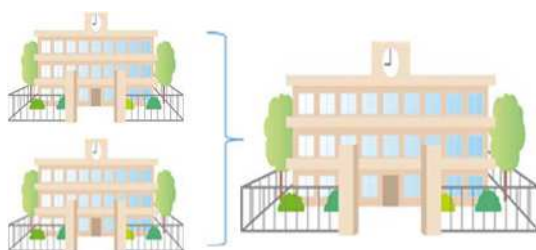
3番目に重要

以下の設問には、「【別紙】一緒に考えよう これからの公共施設」をご覧くださいながらお答えください。

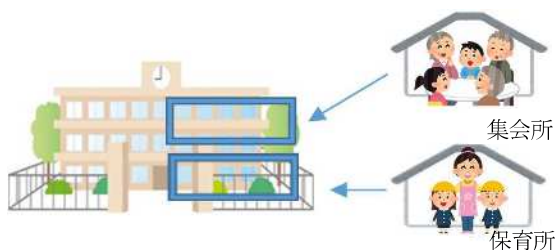
1. はい 2. いいえ

1. 新たな公共施設の建設を抑制する
2. 既存施設を統合※1する
3. 既存施設を複合化※2する
4. 施設利用者の負担を引き上げる
5. 施設のサービス水準を引き下げる
6. 費用がかかっても現状を維持する
7. その他(具体的に:)

同じ用途の施設を一つにまとめること。
例えば、児童・生徒数の減少した学校同士
を統合すること等です。



異なる用途の施設をまとめること。
例えば、学校の空き教室を地域の集会所
や保育所として活用すること等です。



1. 施設の総量が減少するのであれば、新たな施設を建てることも検討する
2. 利用者に不公平感がないよう、地域のバランスやアクセス性に考慮する
3. 施設を廃止した場合は、跡地の有効な活用方法を検討する
4. 近隣自治体や県の施設等との広域利用を検討する
5. 公共施設の統合や複合化には反対(現状維持)
6. その他(具体的に:

Q16. 仮に、公共施設を統合・複合化する場合、どのような施設から検討していくべきだと考えますか。あなたの考えに合うものを選んでください。(○はいくつでも可)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. あまり利用されていない施設 | 2. 主に一部の個人や団体が使用する施設 |
| 3. 維持管理にかかる費用の高い施設 | 4. 同様の施設が近隣にある施設 |
| 5. 老朽化が著しい施設 | 6. 公共交通の便が悪い施設 |
| 7. 同様のサービスが民間に存在する施設 | |
| 8. 公共施設の統合・複合化には反対 | |
| 9. その他(具体的に: |) |

Q17. 本市の公共施設見直しの取組みを検討する際に、どのような手法をとれば市民の方々と情報共有できると考えますか。あなたの考えに最も合うものを選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--|-------------|
| 1. 市広報誌やHPによる情報発信 | 2. SNS等での発信 |
| 3. 大学教授など有識者を交えたシンポジウムや、取組みに特化した催しでの情報発信 | |
| 4. どんどこまつりなどの多くのイベントでの情報発信 | |
| 5. 公共施設などの多数の人が集まる場所へのパネルの掲示やパンフレットの配布 | |
| 6. 対象施設や各自治会、団体への出前講座等での説明会の開催 | |
| 7. その他(具体的に: |) |

Q18. 公共施設の見直しを進める中で、住民の方々とどのような対話を行えば大多数の方が満足していただけると思いますか。あなたの考えに合うものを選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1. ワークショップ(課題や情報を共有し、互いの立場や多様な意見を尊重・理解し合いながら交流することにより、解決策や提案をまとめていく参加・体験型の検討作業の場です。) | |
| 2. 市民と市長の対話集会(設定されたテーマについて、市長が地域へ出向き、市民と直接語り合う場です。) | |
| 3. パブリックコメント(政策や計画等の案を公表して市民からの意見を募り、その意見及び意見に対する市の考えを公表する制度です。) | |
| 4. アンケート(事業に関する一定の質問項目について、広く市民の意見を求める調査です。) | |
| 5. 説明会(市民と相対して説明する場を設け、意見交換や意見聴取を行うものです。地域住民説明会、現地説明会等、事業の内容や進捗に応じて対象や規模を設定します。) | |
| 6. シンポジウム(専門家や有識者による基調講演、専門的な知見に基づいた討論(質疑応答)等を行い、事業に関する考え方や論点を広く伝えるものです。) | |
| 7. その他(具体的に: |) |

Q19. 公共施設の見直しについて市民からの反対があった場合に、市はどのように行動すべきだと思いますか。あなたの考えに合うものを選んでください。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 反対する市民の理解が得られるまで丁寧に説明を行った上で取組みを進めるべきである。 |
| 2. 将来世代への財政的な負担が軽減できるのであれば、一部に反対があっても取組みを進めるべきである。 |
| 3. 反対する市民にも丁寧に説明を行った上であれば、反対があっても取組みを進めるべきである。 |
| 4. 理解が得られるよう努めたとしても、それでも一部に反対があるのであれば、取組みを進めないほうが良い。 |

5. ホームページ等でパブリックコメントを行えば、取組みを進めるべきである。
6. 値上げや事業の縮小など市民サービス水準を下げる代替案とするなどで、取組みを進めるべきである。
7. 取組みを進めない方がよい。
8. わからない。
9. その他(具体的に:)

Q20. スポーツ施設(P5をご覧ください)について、施設の老朽化に伴い、多額の更新費用や維持管理費がかかる可能性が高いため、将来的に施設の廃止や複合化等により施設数を減らす必要があります。

施設の廃止や複合化等について、あなたの考えに合うものを選んでください。(○は1つ)

1. 施設数を複数減らし、既存施設の改修や修繕を行い、長寿命化をはかる。(⇒Q22へお進みください)
2. 施設数を減らさず、既存の施設の改修や修繕を行い、長寿命化をはかる。(⇒Q22へお進みください)
3. 施設数を減らさず、最低限の修繕のみで利用できる期間まで維持管理を続け、その後廃止する。(⇒Q22へお進みください)
4. 施設数を複数減らし、新たな施設を建てる。(⇒Q21へお進みください)
5. その他(具体的に:)
(⇒Q22へお進みください)

Q21. Q20. で4を選択した方にお伺いします。

新たな施設を建てる場合、どのような施設を期待しますか。(○はいくつでも可)

1. ユニバーサルデザインを採用した障がい者や高齢者に配慮した施設
2. 生涯スポーツ推進や地域スポーツ発信拠点としての施設
3. 既存の施設にはない機能を持つ施設
4. 競技スポーツ推進の場となり観客席を併設した施設
5. 防災機能を備えた施設
6. その他(具体的に:)

Q22. 市民文化系施設(P4をご覧ください)については、施設の老朽化に伴い、多額の更新費用や維持管理費がかかる可能性が高いため、将来的に施設の廃止や複合化等により施設数を減らす必要があります。施設の廃止や複合化等について、あなたの考えに合うものを選んでください。(○は1つ)

1. 施設数を複数減らし、既存施設の改修や修繕を行い、長寿命化をはかる。(⇒Q24へお進みください)
2. 施設数を減らさず、既存の施設の改修や修繕を行い、長寿命化をはかる。(⇒Q24へお進みください)
3. 施設数を減らさず、最低限の修繕のみで利用できる期間まで維持管理を続け、その後廃止する。(⇒Q24へお進みください)
4. 施設数を複数減らし、新たな施設を建てる。(⇒Q23. へお進みください)
5. その他(具体的に:)
(⇒Q24へお進みください)

Q23. Q22. で4を選択した方にお伺いします。

新たな施設を建てる場合、どのような施設を期待しますか。(○はいくつでも可)

1. ユニバーサルデザインを採用した障がい者や高齢者に配慮した施設
2. 新たな利用者の発掘、新たな交流の創出ができる施設
3. 防災機能を備えた施設
4. コンサートや大規模イベントが開催できる施設
5. その他(具体的に:)

Q24. 市民文化系施設のホールについて、同様に多額の更新費用や維持管理費がかかる可能性が高いため、すべてのホール機能の保持が難しいことから、ホール数の減少や機能の見直しが必要です。それらについて、あなたの考えに合うものを選んでください。(○は1つ)

1. ホール数は減らさず、施設の稼働や催事内容等で各ホールの機能を変更する。
2. ホール数は減らさず、各ホール機能も変更しない。
3. ホール数を減らし、ホール機能を変更しない。
4. ホール数を減らし、施設の稼働や催事内容等で各ホールの機能を変更する。
5. その他(具体的に:)

(学校教育施設について)

今後、更なる少子化による園児・児童・生徒数の減少が見込まれるため、将来的に統合や複合化等の検討が必要になってきます。学校教育施設について、以下の設問にお答えください。

Q25. 将来の市立小・中学校のあり方について、あなたの考えに合うものを選んでください。(○はいくつでも可)

1. 施設の規模を縮小(校舎の一部廃止、プールの他校利用・民間施設での代替など)
2. 近隣の小学校同士または中学校同士を統合
3. 近隣の小学校と中学校を統合
4. 小学校・中学校以外の施設と複合化
5. 施設の規模の縮小、廃合、複合化のいずれにも反対
6. その他(具体的に:)

Q26. 仮に、小・中学校が統合され、新たな小・中学校への通学が遠くなった場合、どのように考えますか。あなたの考えに合うものを選んでください。(○は1つ)

1. 通学の安全確保ができれば多少遠くなることは構わない
2. バス等の通学手段の確保ができれば構わない
3. 別の機能の追加や新たな学びの環境が整っていれば構わない
4. どのような場合であっても遠くなることは認められない
5. その他(具体的に:)

Q27. 仮に、小・中学校に別の機能を追加するとした場合、どのような機能を持たせるとよいと考えますか。あなたの考えに合うものを選んでください。(○はいくつでも可)

1. 地域の人たちの活動拠点
2. 生涯学習の場
3. 保育園や幼稚園
4. 学童保育の場
5. 高齢者などに介護福祉サービスを提供する場
6. 図書貸出・閲覧サービスを提供する場
7. 事務所や診療所等の民間活用
8. 小・中学校は学校教育以外で使用するべきでない
9. その他(具体的に:)

Q28. 今後、1学年1クラスの小・中学校など、小規模校が増加していくことが予想されます。小・中学校が小規模化していくことについて、あなたの考えに合うものを選んでください。(○は1つ)

1. 望ましい (⇒ Q29. へお進みください)
2. どちらかといえば望ましい (⇒ Q29. へお進みください)
3. どちらかといえば望ましくない (⇒ Q30. へお進みください)
4. 望ましくない (⇒ Q30. へお進みください)
5. わからない (⇒ Q31. へお進みください)

Q29. Q28. で「1. 望ましい」「2. どちらかといえば望ましい」を選択した方にお伺いします。「望ましい」「どちらかといえば望ましい」と考える理由をお答えください。(○はいくつでも可)

1. 同学年の子ども同士がよく知り合うことができ、人間関係が密になる
2. 異学年の子どもとの関わりが密になる
3. 運動会や音楽会などの学校行事で、子ども一人ひとりの活躍の場が作りやすくなる
4. 先生が目が届きやすく、きめ細やかな指導(個別指導)がしやすくなる
5. 全員で団結や協力がしやすくなる
6. 個々の活動の場が増え、責任感が育つ
7. ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができる
8. 特になし
9. わからない
10. その他(具体的に:)

Q30. Q28. で「3. どちらかといえば望ましくない」「4. 望ましくない」を選択した方にお伺いします。「どちらかといえば望ましくない」「望ましくない」と考える理由をお答えください。(○はいくつでも可)

1. 切磋琢磨する機会が少なくなる
2. 子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる
3. 集団活動・行事に支障がでる
4. 多様な考えに触れる機会が少なくなる
5. コミュニケーション能力が育ちににくくなる
6. 部活動などの数や部員が少なくなり、運営に支障がでる

【別紙】一緒に考えよう これからの公共施設

生駒市では、これまで人口の増加に伴い、学校、図書館、スポーツ施設などさまざまな公共施設を建設してきました。しかし、多くの公共施設は老朽化が進み、近い将来、一斉に改修や建て替えの時期を迎えようとしています。

こういった状況の中、これからの公共施設はどうあるべきか、検討を進めています。

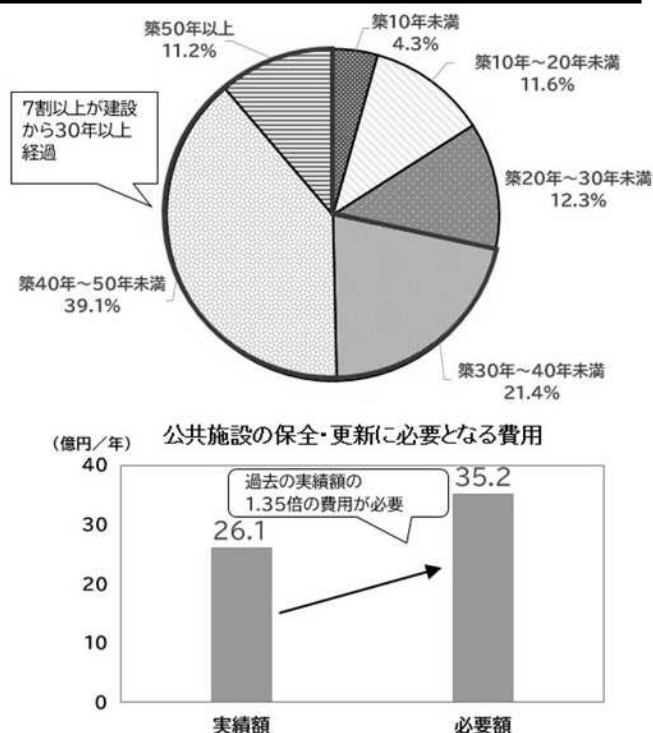
生駒市の公共施設が抱える課題

① 施設の老朽化が進み、多額の更新費用が必要になります

1971年の市制施行後、人口の急激な増加に併せて公共施設を整備してきました。これにより、大規模改修実施の目安とされる築30年を経過した建物が7割以上を占めており、今後一斉に改修・建て替えの時期を迎えます。

そのため、今ある施設を同規模のまま更新した場合、今後必要となる更新費用(必要額)は1年あたり約35億2,000万円と試算されています。

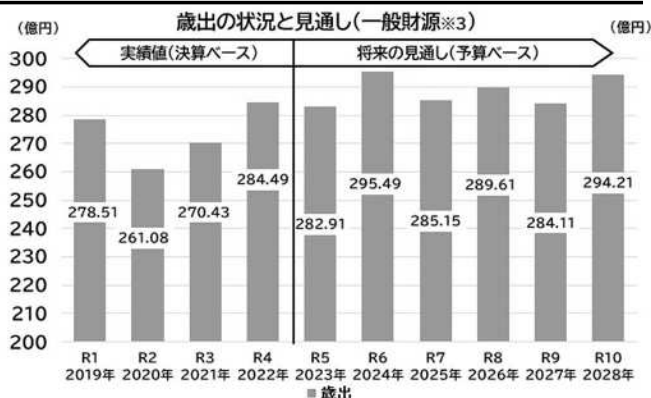
これは、2014～2018年度に本市が支出した1年あたりの更新費用(実績額)の1.35倍に相当します。



② 増え続ける支出に対して、伸びない収入

2024年現在、約11万7,000人である本市の人口は、今後30年間で約2万人以上減少すると見込まれています。これにより、経常的な歳入の7割を占める市税収入は、今後、大幅な増収は見込めません。

一方、老年人口の増加に伴う社会保障関係費の増加や小中学校及び幼稚園教育の充実(幼稚園・小中学校のエアコン設置、DX※1、など)に伴う公債費※2の増加が見込まれており、市の財政状況は非常に厳しくなっています。



※1 DX: Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)の略称。デジタル技術を活用することにより学校教育を変革しようとするもの

※2 公債費: 市債(借金)の返済にかかる経費

※3 一般財源: 地方公共団体の収入のうち、使いみちを自由に決めることができる財源。地方税(市税等)、地方交付税、地方譲与税など

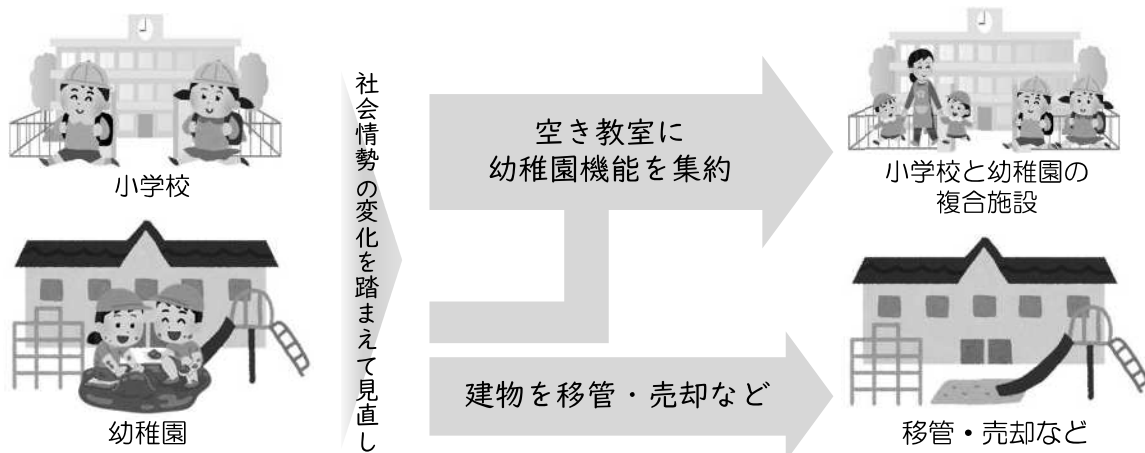
公共施設を未来に引き継ぐために

こういった課題に対応するため、本市では令和41年度までに公共施設を削減する必要があると考えています。

これから先も市民の皆さんに、安心して快適に公共施設を利用していただくために、施設の状態や利用状況などを考慮しながら、社会の変化に応じて公共施設を見直す取り組みを進めていきます。

施設は有効に活用します

これまで、「1つの施設に1つのサービス」が当たり前でしたが、これからは異なる機能を併せ持つ施設や、同じような機能を集約する施設など、施設のあり方をより柔軟に考える必要があります。



今後の取り組み

本市では、公共施設の老朽化状況や利用状況などの現状や市民の皆さんからいただくご意見をもとに、施設ごとの今後の方針とその方針を実行するための具体的な手法や実施時期などを定める計画（個別施設計画）を改定し、計画的に施設の見直しを進めていきます。

公共施設マネジメント推進計画

施設ごとに、維持や廃止、他機能の受け入れ、用途変更など、今後の方針を定めます。

個別施設計画

公共施設マネジメント推進計画に定める方針を実行するための具体的な手法や実施時期などを定めます。

市民アンケート調査

ワークショップなど

本市では、これからも情報提供と対話に努めながら、公共施設のあり方について皆さんと一緒に検討していきます。

将来世代に負担を残さず、良質な公共施設を引き継ぎ、最適な公共サービスを提供し続けられるまちを目指して、公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

